

## BIPROGY の社内 AI 活用事例が日本マイクロソフトの 「Microsoft AI Tour」で紹介のお知らせ ～AI エージェントを全社展開、業務部門主導の AI 活用が評価～

BIPROGY の社内 AI 活用の取り組み・事例が、2026年4月8日にグランド ハイアット東京で開催された日本マイクロソフト株式会社（本社：東京都港区）主催の「Microsoft AI Tour for Partner」のエグゼクティブ基調講演の中で紹介されました。



本講演では、Microsoft 365 Copilot および Microsoft Copilot Studio（以下 Copilot Studio）を活用した、AI エージェントの全社展開や業務部門主導で AI 活用を定着させるための取り組みが、先進的な事例として紹介されました。

### 社員自らが AI エージェントを作り、業務に生かす仕組みを全社へ

現在の市場では、AI 活用が PoC や一部部門にとどまり、全社展開や現場定着が進まない点が課題となっています。

BIPROGY グループはこれに対し、自社を“Customer Zero”として AI 活用を先行実践・検証し、その知見をもとに「現場主体で AI を活用する」アプローチを推進しています。Copilot Studio を活用した AI エージェントにより、実業務に直結する DX を全社規模で実現しています。

2025年12月には AI エージェントの実行環境をグループ全体に解放し、IT 部門だけでなく、業務部門が主体となって AI を活用できる環境を整備しました。この取り組みにより、社員自らが業務課題に即した AI エージェントを迅速に作成・改善できるようになり、現場の知見が反映されたユースケースが継続的に創出されています。その結果、単なるツール導入にとどまらず、日常業務に根付いた形での効率化・品質向上を実現しています。

さらに BIPROGY グループは、AI を「中央で作るもの」ではなく「現場で育てるもの」と捉え、全社でスケールさせるための仕組みとガバナンスを両立している点にあります。これらの取り組みを基盤として、今期より AI CoE (Center of Excellence) を推進体制として正式に組成し、全社横断での標準化・ナレッジ集約・ガバナンス強化を一層加速しています。

これにより、現場主導の俊敏な活用と、全社としての統制・再現性を両立し、AI 活用の属人化や一過性を防ぎながら、持続的な業務変革へとつなげています。

### **実際に活用されている AI エージェントの例**

講演内では、BIPROGY グループ内で実際に利用されている AI エージェントの具体例として、以下のような取り組みが紹介されました。

- ・プロモーション原稿チェックアシスタント  
原稿の校正、表記の誤りや過剰表現のチェック、修正案の提示、さらに FAQ の作成までを支援
- ・稟議作成支援エージェント  
社内決裁時に必要な稟議資料の内容をチェックし、改善案を提示
- ・PC セットアップ支援エージェント  
PC 入れ替え時のセットアップ手順を支援し、問い合わせの自己解決を促進

これらの AI エージェントにより、レビュー時間の短縮、手戻りの削減、業務品質の向上といった効果が生まれています。

### **約 50%の業務時間削減も実現、現場主導での活用が加速**

特にプロモーション業務では、「プロモーション原稿チェックアシスタント」の活用により、原稿作成にかかる対応時間を約 50%削減。

従来は約 1 カ月かかっていた業務が、1~2 週間程度に短縮されています。

AI が文章構成や日本語表現のチェックを担うことで、人は「何を伝えたいか」という本来の価値創出に集中できるようになっています。

### **AI 活用を“自律的に広げる”ための社内推進の仕組み**

講演では、AI エージェントを単に導入するだけでなく、社内に定着・拡大させるための取り組みも高く評価されました。

BIPROGY グループでは、生成 AI を以下の 3 領域で活用し、企業価値の向上を目指しています。

- ・サービス差別化
- ・システム開発の QCD 向上
- ・柔軟な働き方の実現

また、AI 活用を推進するための独自の取り組みとして、

- ・各組織で AI 活用を支援するアンバサダー制度
- ・社員同士が事例やアイデアを共有するライトニングトーク大会
- ・社内セミナーやポータルを活用した継続的な情報発信

といった施策を展開し、“やらされ感”ではなく、自律的・自発的に AI 活用が広がる文化を醸成しています。

## 今後について

BIPROGY は、今後も AI の活用を通じて、業務効率化にとどまらない本質的な DX の実現に取り組んでまいります。

また、Microsoft 365 Copilot の自社導入事例と長年培ってきた Microsoft 365 構築のノウハウを生かし、お客さまのデジタルワークプレイス（働く環境をデジタル化し、社員が効率よく、生産性高く、安心・安全にデータを活用し、自律的に働ける環境）を提供します。

そして、生成 AI 活用の価値を最大化するパートナーとして、お客さまが安心して課題解決に取り組めるよう伴走します。

本件に関するお問い合わせはこちら！

<https://x.gd/Fr9S7>

### ■ 関連リンク

Microsoft 365 Copilot 向け支援サービス

<https://www.biprogy.com/solution/service/m365copilot.html>

※Microsoft、Microsoft 365 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※Microsoft 365 は、Microsoft Corporation が提供するサービスの名称です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。